

水路で生き物発見 5、6年生が観察会

鹿沼市 / 見野・富岡・下遠部環境整備協議会

下野新聞 2017年8月28日



網で生き物を捕まえる児童ら

(阿部雅士)

「みんなでいろいろな生き物を捕まえて楽しかった」と笑顔で話した。

【鹿沼】見野・富岡・下遠部環境整備協議会（平井好会長）は27日、菊沢西小の北側にある水路で生き物観察会を開いた。同校の5、6年生計16人が参加し、身近な水路にいる生き物に

水路で生き物発見

鹿沼・菊沢西小

5、6年生が観察会

ついて学んだ。

同協議会は3地区合同による農村の保全活動を推進している。毎年開いている生き物観察会も活動の一環で、今回が4回目。

児童たちは水路に入り、網で水をすくって生き物が入っていないかを確認。サワガニやオニヤンマ、オオヤマトンボのヤゴを捕ったほか、コオイムシ、ミズカマキリといった珍しい生き物も捕まえた。これらの生き物について鹿沼自然観察会の渡辺知義会長が説明し、児童たちは集中して話を聞いていた。

6年丸山泰正君（11）は